

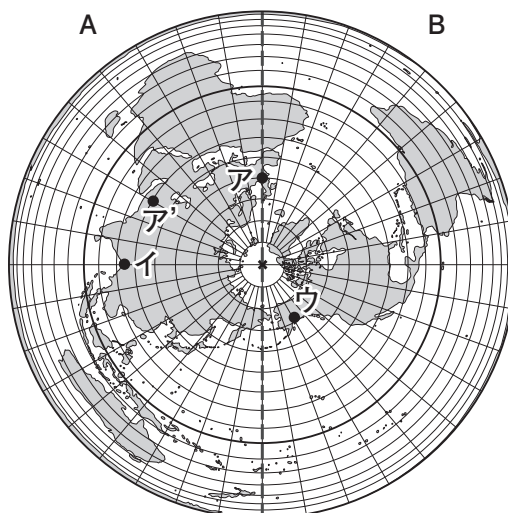
地 理 B

(解答番号 ~)

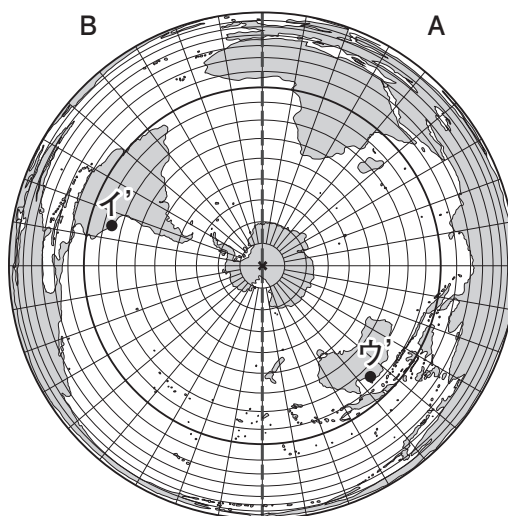
1 地理情報と地図に関して、問1～問4に答えよ。

問1 アヤカさんは、時差の仕組みについて興味をもち、資料1と資料2を得た。資料1と資料2中のA、Bは、本初子午線から東回りに180度の経線までの東半球、本初子午線から西回りに180度の経線までの西半球のいずれかを、ア～ウ、ア'～ウ'は都市を示している。これらの資料に関するアヤカさんと先生の会話文中の空欄 , に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

資料1 北極点を中心とする正積方位図法



資料2 南極点を中心とする正積方位図法



注) ・緯線・経線はすべて10度間隔。
 ・破線は、経度0度及び経度180度を示す。

会話文



アヤカ：資料1と資料2の正積方位図法を使って、時差の仕組みについて考えてみることにしました。

先生：時差の仕組みを考える際に、このような図法を使うと、理解しやすくなりそうですね。

アヤカ：でも、調べてみたいものの中には、南極点を中心とする資料2を読む必要があって、難しそうです。

先生：確かにそうですね。しかし、本初子午線を手がかりにすれば、読み方が容易になります。本初子午線は、どちらの資料も図の中心から見た上下方向への破線ですね。では、Bの部分は東半球ですか、それとも西半球ですか。

アヤカ：アメリカ合衆国の位置から判断すると…。Bの部分は **X** になります。

先生：その通りです。では、次にアとア'から順に時差(南中時刻の差)を測ってみましょう。

アヤカ：アとア'の間は経度0度と経度60度の差である60度離れているので、サマータイムを考慮しないとすれば、4時間の時差があると考えられます。資料2の場合も日本の位置から判断すればよさそうですね。

先生：この考え方を使えば、イとイ'の間とウとウ'の間の時差も分かりそうですね。日付を含めて考えた場合の時刻の差はどちらが大きいと考えられますか。イ'とウ'の位置を資料1に落として考えてみましょう。日付変更線にも注目してください。

アヤカ： **Y** のほうが、時差が大きいと考えられます。これは分かりやすいですね。

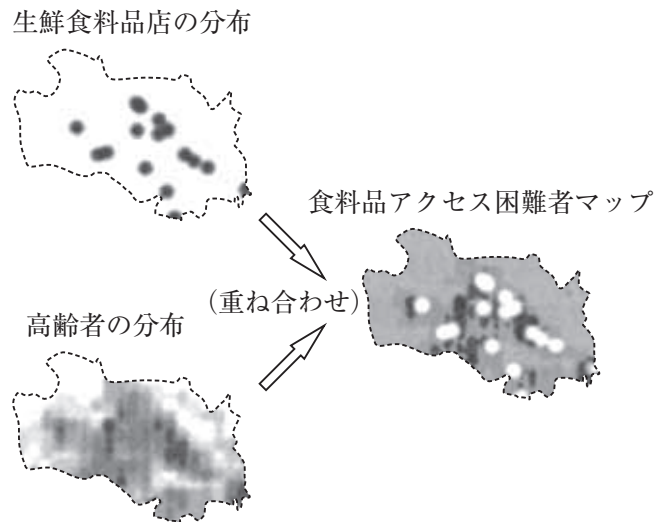
先生：よく理解できました。

	X	Y
①	東半球	イとイ'の間
②	東半球	ウとウ'の間
③	西半球	イとイ'の間
④	西半球	ウとウ'の間

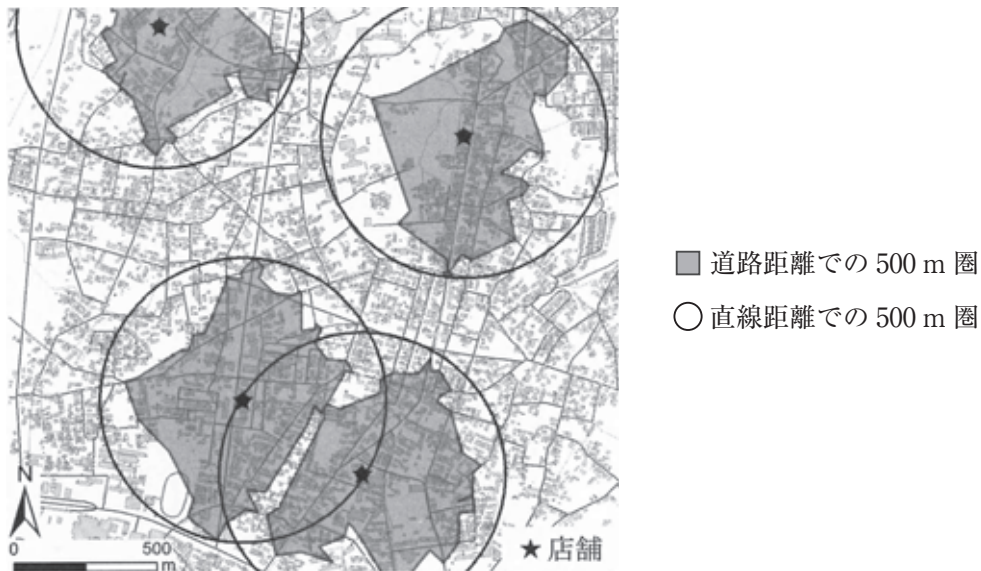
問 2 アヤカさんは、GIS(地理情報システム)を用いた地図の作り方について学び、資料3～資料4を得た。資料3は、「食料品アクセス困難者マップ」を制作する過程に関するものである。これらの資料に関するアヤカさんと先生の会話文中の空欄 **X** , **Y** に当てはまる語と記号の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **2** 。

資料3 「食料品アクセス困難者マップ」を制作する過程



資料4 各店舗からの500m圏を示す二つの方法

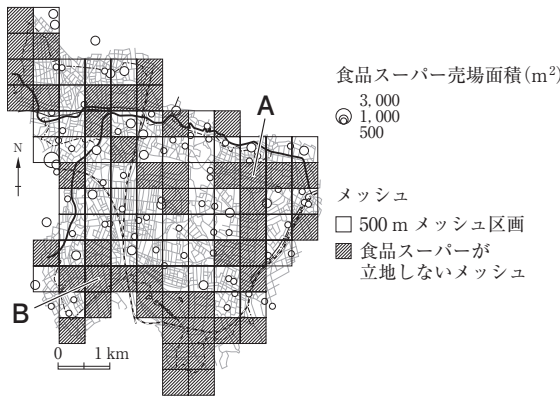


注) 道路距離は、道路に沿ったなるべく短いルートの長さのことである。

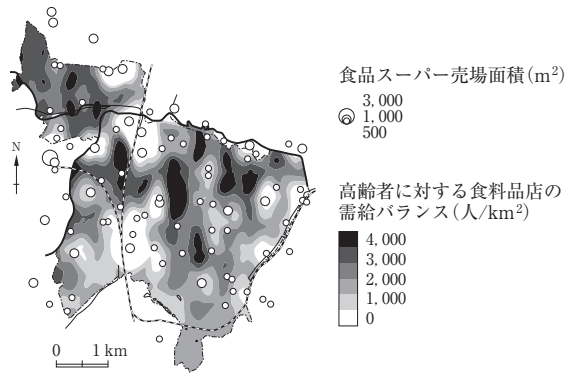
(『都市のフードデザート問題』により作成)

資料5

ア 生鮮食料品店の分布



イ 食料品アクセス困難者マップ



注) 高齢者に対する生鮮食料品店の需給バランス(人/km²)は、数値が高いほど食料品アクセス困難者が多いことを示す。
(『都市のフードデザート問題』により作成)

会話文

アヤカ：近隣の生鮮食料品店までの距離が遠く、高齢者が生鮮食料品などの買い物に困っているという話を聞きました。そこで、「食料品アクセス困難者マップ」を読み取ってみることにしました。

先生：どのようなことが読み取れましたか。

アヤカ：「食料品アクセス困難者マップ」は、資料3のように、2枚の地図を重ね合わせることで作られていました。重ね合わせて作成した地図のうち、白色の地域は生鮮食料品店が分布しており、黒色の地域は食料品アクセス困難者が多いことが表されています。

先生：なるほど、高齢者の分布と、店舗からの徒歩圏を地図に示すことが大切ですね。店舗からの徒歩圏には、資料4のように直線距離で示す方法と、道路距離で示す方法があります。より正確なものにするためには、どちらの方法が適切ですか。

アヤカ：生鮮食料品店までの実際にかかる時間を考える必要があるため、 X で示すほうが適切です。この考え方をういて制作されたのが、資料5のイです。

先生：資料5のアは、生鮮食料品店の分布を表したものです。この2枚の地図を重ね合わせると、どのようなことがわかりますか。

アヤカ：アとイの地図から、食品スーパーが立地しないところほど、食料品アクセス困難者が多い傾向にあることがわかりました。AとBのメッシュを比較すると、食料品アクセス困難者がより多く存在するのは Y でした。

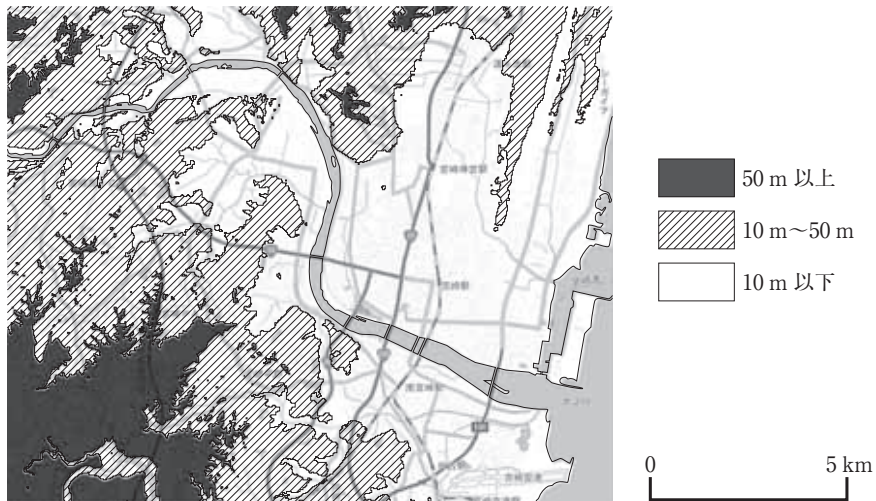
先生：このような分析を参考にして、よりよい社会づくりに役立てたいですね。

	X	Y
①	道路距離	A
②	道路距離	B
③	直線距離	A
④	直線距離	B

問 3 アヤカさんは、ハザードマップに興味をもち、資料6と資料7を得た。資料7のA～Cはそれぞれ洪水、津波、土砂災害のうち、いずれかの被災想定区域を示したものである。資料7中の地図と災害の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 3。

資料6 アヤカさんが地理院地図により作成した宮崎市周辺の標高段彩図



(地理院地図により作成)

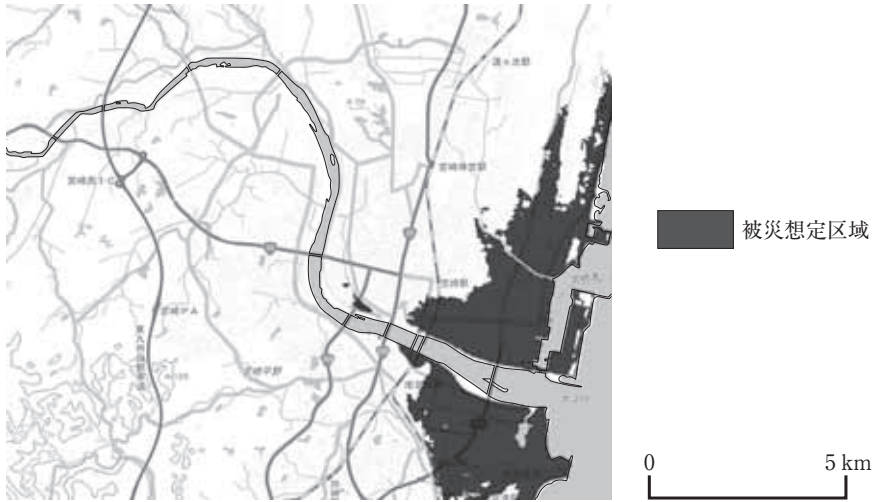
資料7 宮崎市周辺におけるいずれかの自然災害の被災想定区域

A

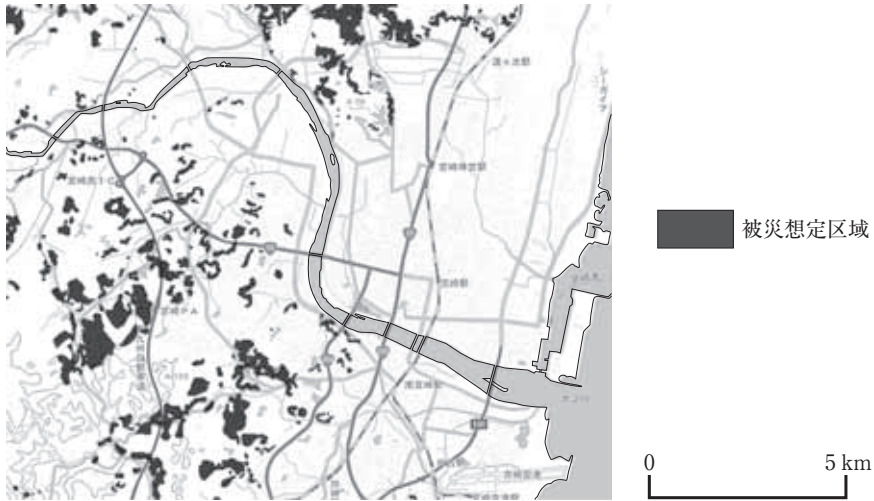




B



C



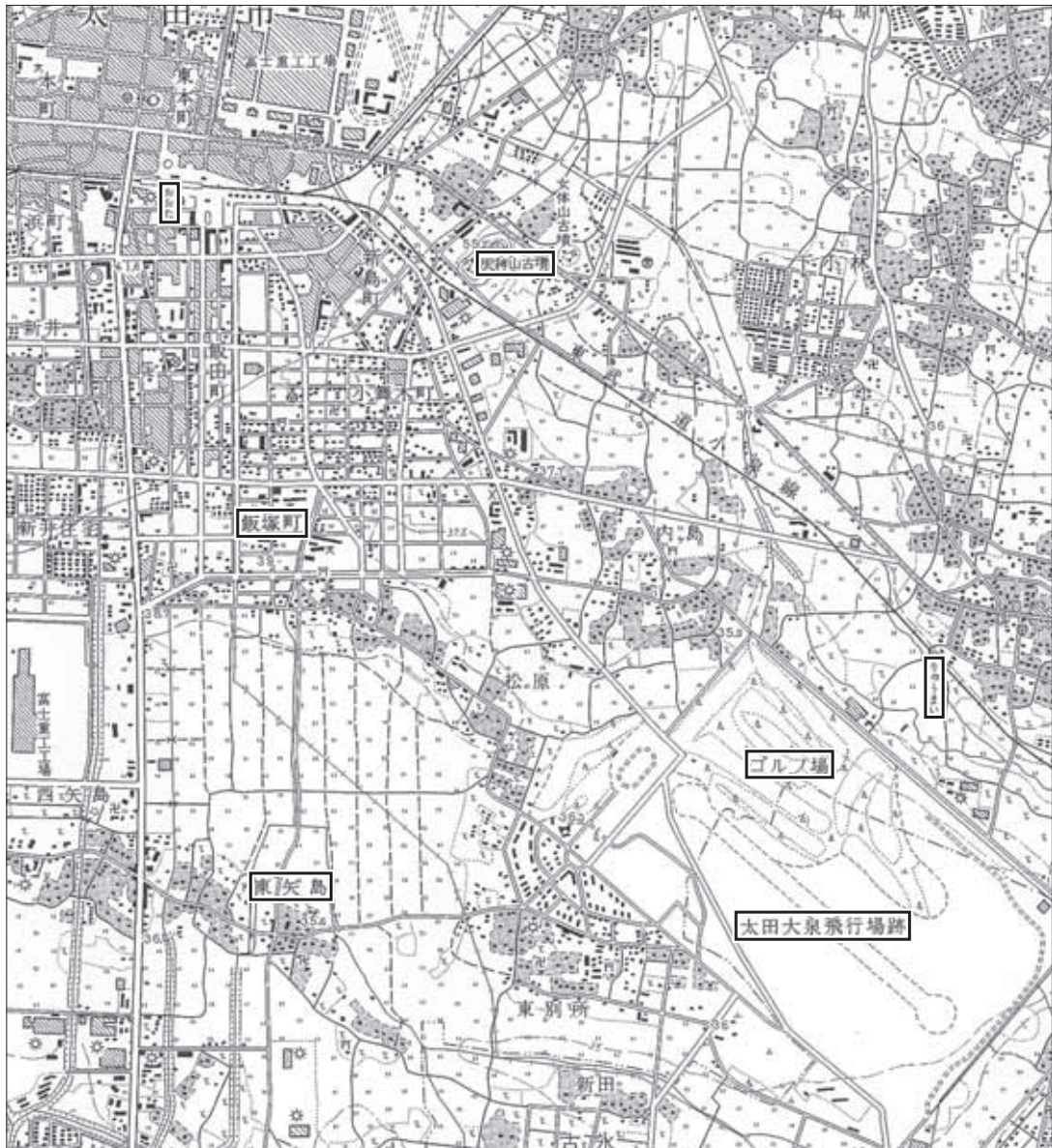
注) 被災想定区域については、洪水は洪水浸水想定区域、津波は津波浸水想定区域、土砂災害は急傾斜の崩壊、土石流、地すべりの特別警戒区域を表している。

(国土交通省資料による)

	A	B	C
①	土砂災害	津波	洪水
②	津波	土砂災害	洪水
③	洪水	土砂災害	津波
④	洪水	津波	土砂災害

問 4 アヤカさんは、群馬県南東部の太田市と大泉町の土地利用の変化を調べるために、資料 8 と資料 9 を得た。これらの資料から読み取った文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

資料 8



(国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図「足利南部」昭和 50 年発行による)

資料9 資料8と同じ範囲を示した地図



(地理院地図(閲覧日：2021年4月18日)による)

- ① 資料8の「太田大泉飛行場跡」とその北側のゴルフ場は、資料9では大規模な工場に変わったことが分かる。
- ② 資料8の「飯塚町」と「東矢島」の間の農地が広がっていた場所は、資料9では学校や大きな建物があり、この間に土地利用が変化したことが分かる。
- ③ 資料8の「おおた(太田)駅」と「りゅうまい(竜舞)駅」との間に、資料9では駅が新設されたことが分かる。
- ④ 資料8の「天神山古墳」の南側で鉄道と交差する道路は、資料9では高架化されたことが分かる。

2 世界の自然環境、資源・産業に関して、問1～問4に答えよ。

問1 ハルカさんは、ある旅行作家の旅行記を読み、資料1と資料2を得た。資料2のア～ウはそれぞれ資料1中のA～Cの各地域の旅の様子を想像しつつ、ハルカさんが集めた景観写真である。地域と写真の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。
解答番号は **5**。

資料1 ハルカさんが作成したメモと著者が自転車で旅をしたルート

メモ

著者は、自転車で世界一周し、その体験を旅行記にまとめた。彼はアラスカを出発し、以下の地図に示したルートで南北アメリカ大陸を縦断した。



(石田ゆうすけ『行かずに死ぬるか』による)

資料2 ハルカさんが手に入れたA～Cのいずれかの地域で見られる景観写真



ア

針葉樹の純林である。奥の山脈には雪が見える。



イ

乾燥した地域であり、砂漠が広がっている。



ウ

熱帯の密林が広がっている。密林の中に遺跡が見られる。

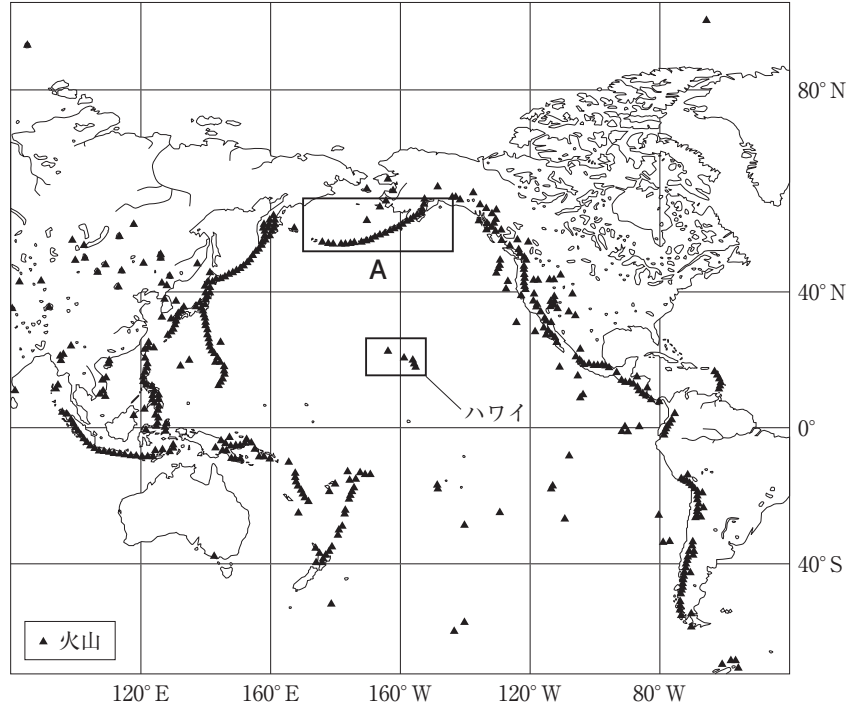
(<https://nsidc.org/cryosphere/snow/plants.html> などにより作成)

	A	B	C
①	ア	イ	ウ
②	ア	ウ	イ
③	イ	ア	ウ
④	ウ	ア	イ



問 2 ハルカさんは、火山の分布や火山島の成因に興味をもち、資料3～資料5を得た。ハルカさんと先生の会話文中の空欄 **X** , **Y** に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6** 。

資料3 太平洋周辺における火山の分布図



注) 火山は、概ね過去一万年間に活動があったものを示している。

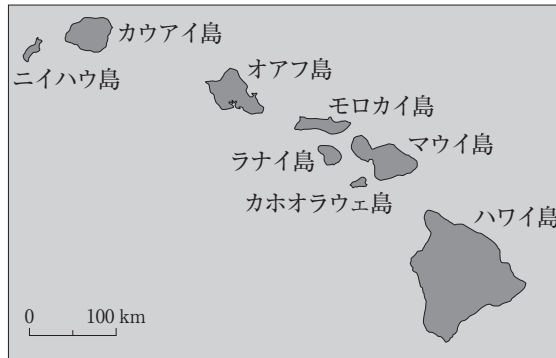
(内閣府資料により作成)

資料4 太平洋周辺における主なプレートの動き



(小学館『日本大百科全書』により作成)

資料5 ハワイ諸島の地図



(http://www.travel-zentech.jp/world/infomation/q003_map_hawaii.htm による)



会話文

ハルカ：先生，資料3をみると，日本にはたくさんの火山があります。なぜ，日本には火山があるのでしょうか。

先生：それは，日本の太平洋側の海底にプレートの狭まる境界があるためです。資料3と資料4を比べて，狭まる境界と火山帯の関係を考えてみましょう。何が読み取れますか。

ハルカ：資料3中のAの地域では，火山帯は狭まる境界に対して概ね X して分布しています。狭まる境界以外にも広がる境界や，ずれる境界付近に火山が分布しています。他には，ハワイ諸島にも火山がありますね。2018年にもハワイ諸島で火山の噴火が発生しました。

先生：そうですね。ハワイ諸島には，プレートの境界ではありませんが，地球内部からマグマが上昇しているホットスポットとよばれる地点があります。

ハルカ：なるほど。資料5をみると，ハワイ諸島はニイハウ島からハワイ島まで，島が列状に分布しています。それぞれ形成された時期が違うのではないのでしょうか。

先生：その通りです。ホットスポットでは，マグマが上昇する地点は変わりません。プレートが移動するために，島が移動します。資料4が示すように太平洋プレートは北西に移動しています。ニイハウ島とハワイ島のうち，形成された時期が古いのは，どちらの島だと思いますか。

ハルカ： Y のほうが形成された時期は古いと思います。

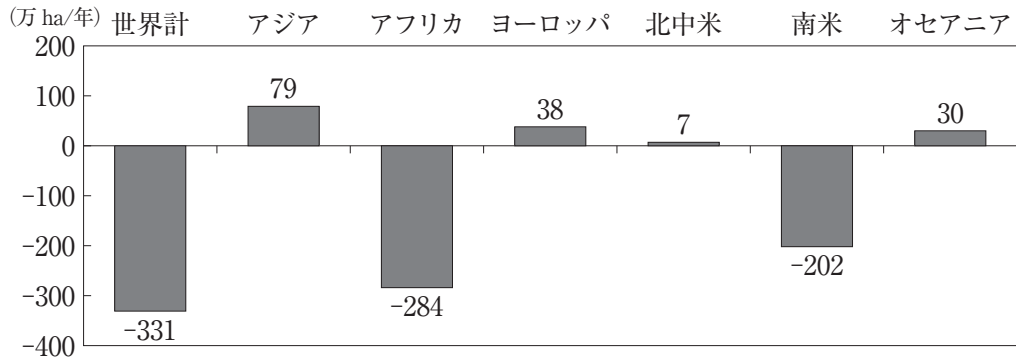
先生：そうですね。よくできました。

	X	Y
①	直交	ハワイ島
②	直交	ニイハウ島
③	平行	ハワイ島
④	平行	ニイハウ島

問 3 ハルカさんは、世界の森林面積の変化に興味をもち、資料6～資料8を得た。これらの資料を基にした、ハルカさんとサトミさんの会話文中の空欄 **X** , **Y** に当てはまる記号と語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

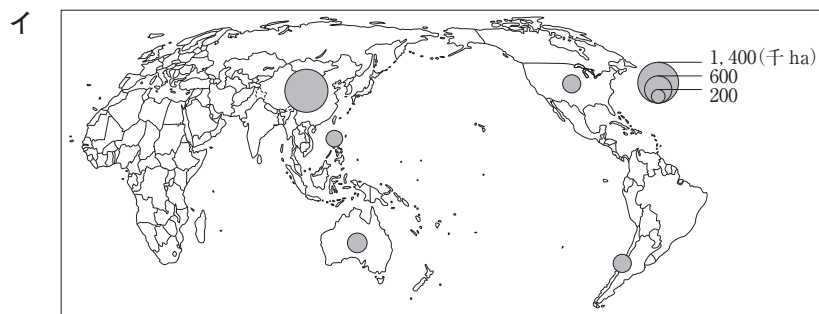
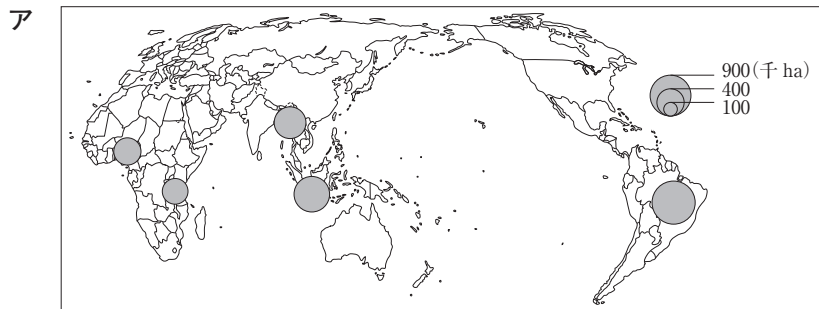
解答番号は **7** 。

資料6 地域別に見た世界の森林面積の変化(2010～2015年)



(林野庁「令和元年度森林・林業白書」により作成)

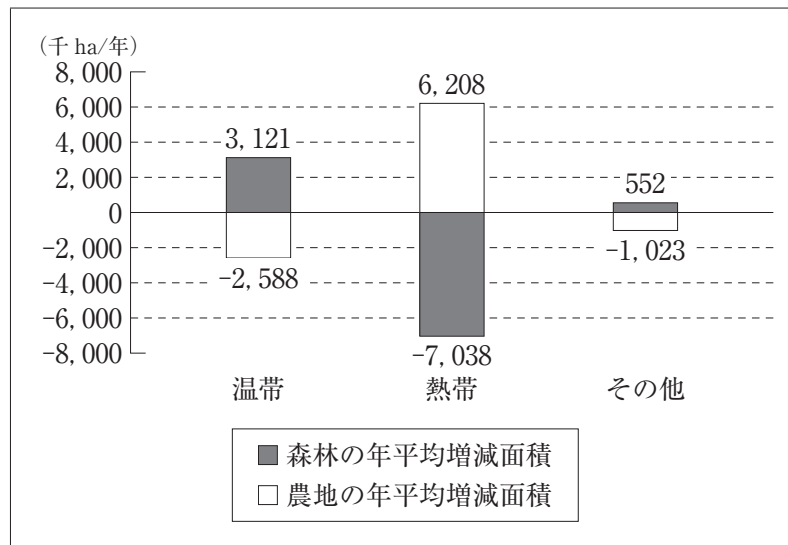
資料7 森林の純減少面積もしくは純増加面積の上位5か国(2010～2015年)



注) 純減少面積および純増加面積とは期間内における森林の増加面積と減少面積を差し引きした値をさす。
(林野庁「世界森林資源評価(FRA)2015(概要)」により作成)



資料8 温帯と熱帯における森林と農地の年平均増減面積(2000～2010年)



(林野庁「令和元年度森林・林業白書」により作成)

会話文

ハルカ：世界の森林面積の変化について面白い資料を見つけました。資料6を見てください。地域によって森林面積の増減には違いがみられます。その違いを詳しくとらえるために、2010年から2015年の間における森林の純増加面積の上位5か国と純減少面積の上位5か国を地図上に示したのが資料7です。純減少面積の上位5か国を示した地図はアとイのどちらだと思いますか。

サトミ：資料6を参考にすると、 X が当てはまると思います。

ハルカ：そのとおりです。次に資料8を見てください。資料8からどのようなことが分かりますか。

サトミ：資料8では、温帯と熱帯で森林と農地の年平均増減面積が逆転していることが分かります。これはなぜでしょう。

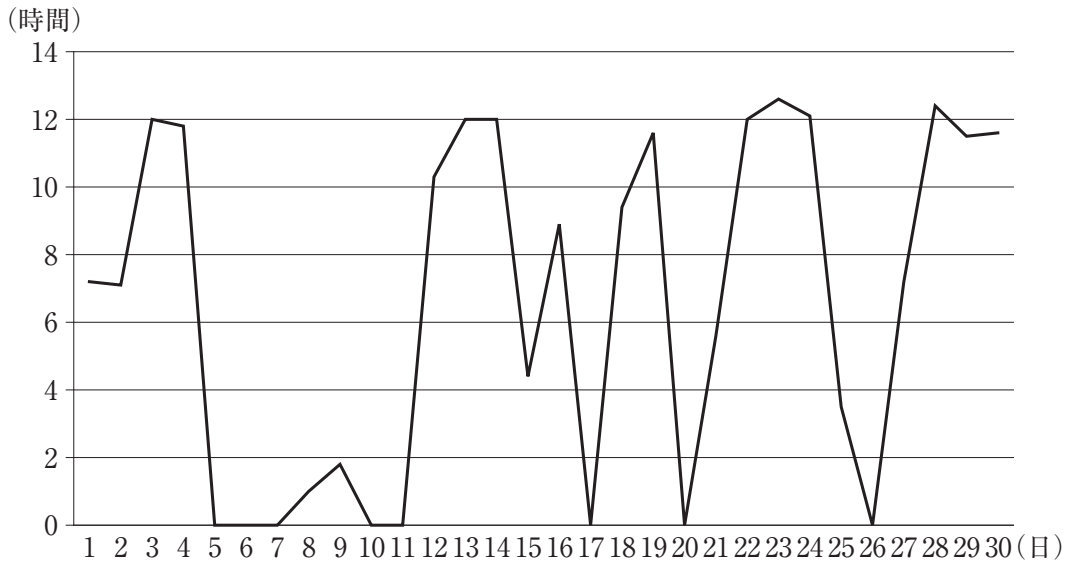
ハルカ：熱帯地域で起こっている森林減少の約8割は Y が原因とされることと関係がありそうです。

サトミ：なるほど。授業で学習した環境問題の内容ともつながりますね。

	X	Y
①	ア	森林火災
②	ア	農地への転用
③	イ	森林火災
④	イ	農地への転用

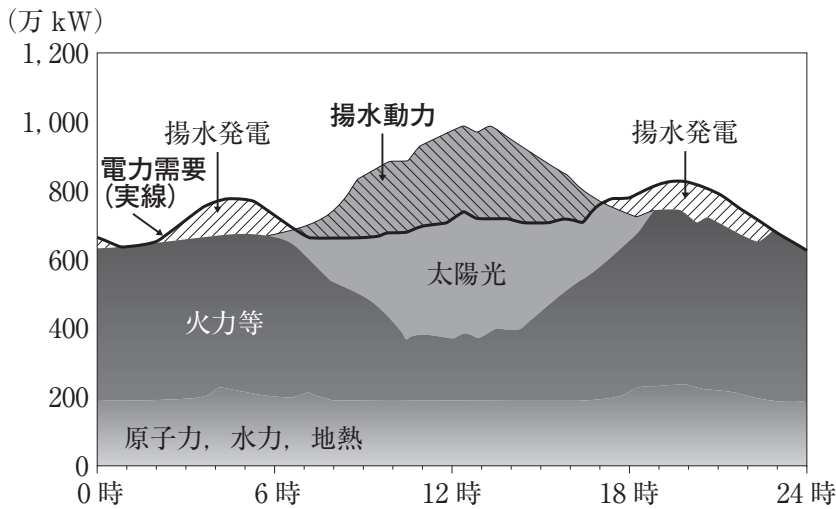
問 4 ハルカさんたちは、電気をさまざまな発電方法を組み合わせてまかなうエネルギーミックスと呼ばれる考え方に興味をもち、資料 9～資料 11 を得た。資料 9～資料 11 をハルカさんたちが読み取ったり、考察したりした結果をまとめたカード中の下線部①～④のうち、その内容が不適切なものを一つ選べ。解答番号は 8。

資料 9 福岡市における日別日照時間(2017 年 4 月)



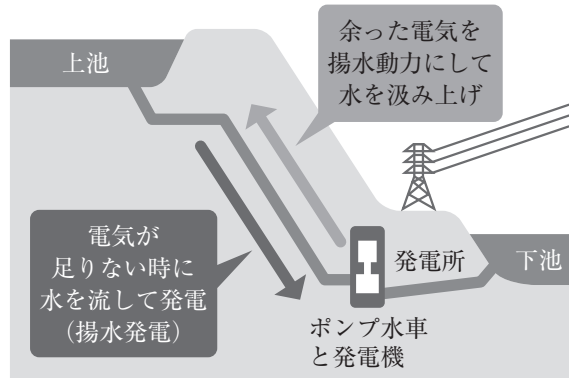
(気象庁 WEB ページにより作成)

資料10 九州本土の電力需給運用の状況(2017 年 4 月 30 日)



注) 揚水動力とは、揚水発電で使うための水を、発電所より上部の池にくみ上げるために使う電力のことをさす。
(九州電力「2017 年度 経営計画の概要」により作成)

資料11 揚水発電所の仕組み(モデル図)



(https://www.yonden.co.jp/cnt_landl/1905/promenade.html により作成)

カード

ハルカ

資料9を見ると、日によって日照時間の差が大きいことから、①太陽光発電の発電量は日によって変動が大きいと考えられます。

サトミ

資料11を見ると、上池に水を汲み上げるために電力を消費し、水を流下させるときに発電していることから、②揚水発電所で用いられる水は、ポンプ水車と発電機を通じて上池と下池の間で行ったり来たりしていることが読み取れます。

タケル

資料9と資料10を見ると、晴れた日は太陽光発電の発電量が増加することを受け、需要と供給のバランスが大きく崩れることで大規模停電が発生しないよう、③昼間の時間帯において火力発電の出力を早朝・夜間より減少させていると考えられます。

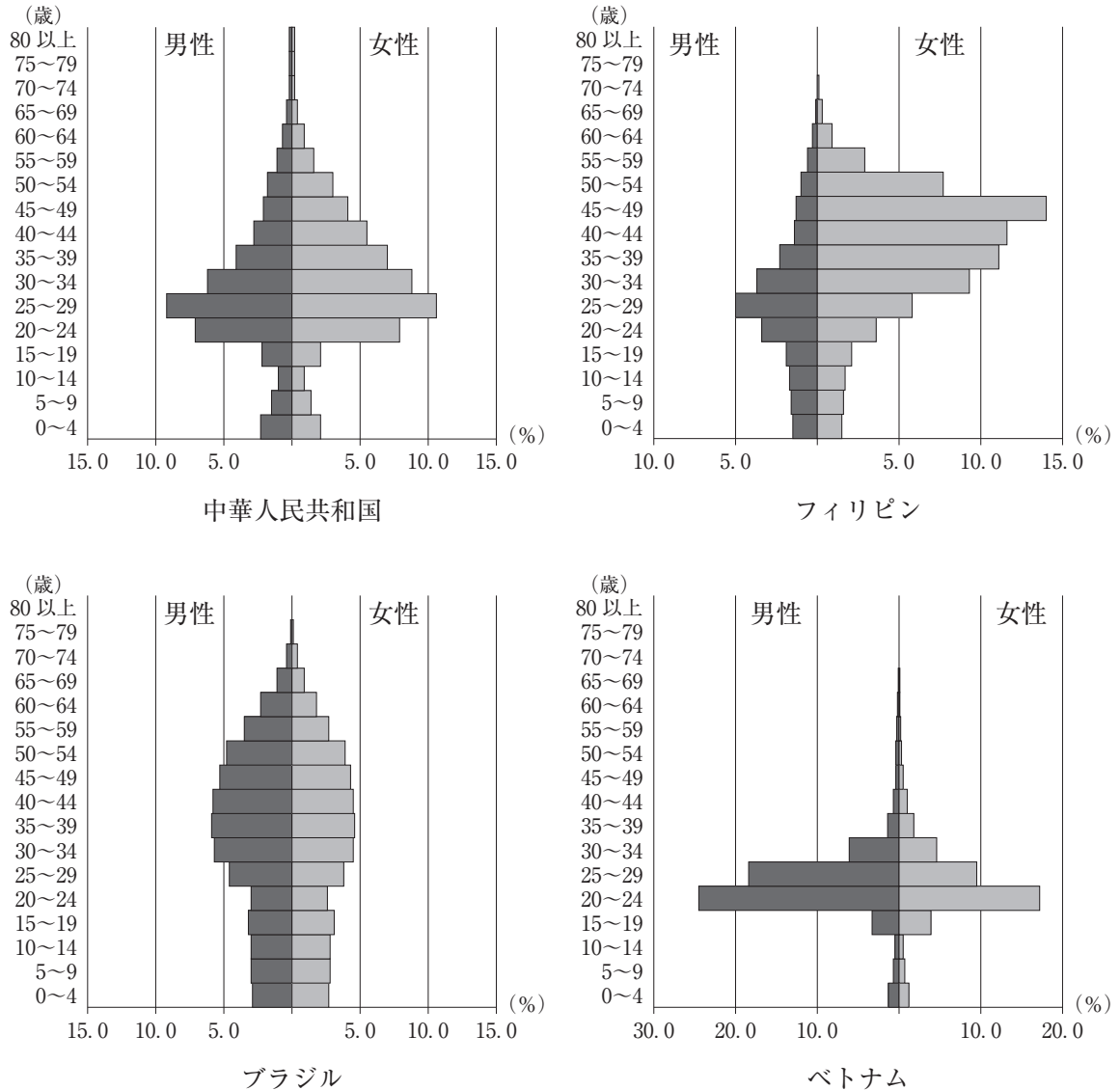
ミライ

資料10と資料11を見ると、九州本土における2017年4月30日の電力需要は5時前後と20時前後に2度のピークがあり、④夜間に汲み上げた水で揚水発電を行うことにより電力需要に対応していることが読み取れます。

3 人口、都市・村落、生活文化と民族・宗教に関して、問1～問4に答えよ。

問1 マドカさんは、日本国内における国籍別外国人労働者の特徴とその変遷に興味をもち、資料1～資料3を得た。資料1～資料3から読み取った内容をまとめた文として不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **9**。

資料1 在留外国人年齢別構成割合(2015年)



注) 中華人民共和国には台湾、香港、マカオを含まない。

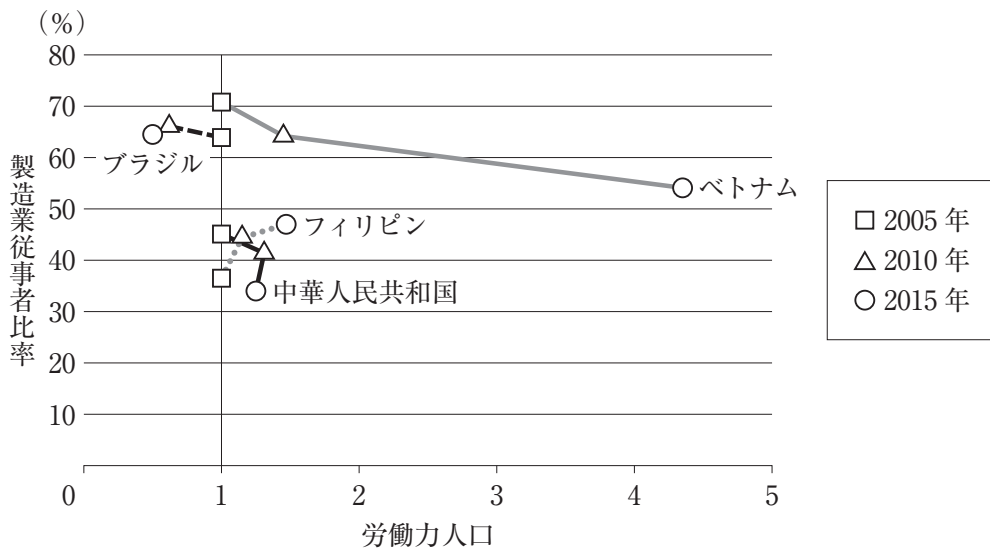
(「国勢調査」により作成)

資料2 在留目的別外国人人数(単位は人)と国籍別総数に占める割合(カッコ内, 単位は%) (2015年)

国	技能実習	永住者	日本人の配偶者等	その他	総数
中華人民共和国	89,086 (13.4)	225,605 (33.9)	34,010 (5.1)	317,146 (47.6)	665,847
フィリピン	17,740 (7.7)	120,390 (52.4)	27,701 (12.1)	63,764 (27.8)	229,595
ブラジル	—	109,361 (63.1)	14,995 (8.6)	49,081 (28.3)	173,437
ベトナム	57,581 (39.2)	13,539 (9.2)	2,182 (1.5)	73,654 (50.1)	146,956

(「在留外国人統計」により作成)

資料3 在留外国人の国籍別製造業従事者比率と労働力人口(2005年比)の推移



注) ・労働力人口とは満15歳以上で学生、引退した高齢者などを除き、就業可能と考えられる人をさす。
 ・2005年の労働力人口の値を1として作成している。

(「国勢調査」などにより作成)

- ① 中華人民共和国からの在留者は資料2を見ると、それぞれの在留目的別において4か国の中で人数が最も多くなっており、資料3を見ると、製造業従事者比率は2005年から一貫して低下していることが分かる。
- ② フィリピンからの在留者は資料1を見ると、男性よりも女性の方が多く、資料2を見ると、国籍別総数に占める「日本人の配偶者等」の割合が4か国の中で最も高くなっていることが分かる。
- ③ ブラジルからの在留者は資料2を見ると、国籍別総数に占める「永住者」の割合が4か国の中で最も高く、資料3を見ると、労働力人口は2005年から一貫して減少していることが分かる。
- ④ ベトナムからの在留者は資料2を見ると、国籍別総数に占める「技能実習」の割合が4か国の中で最も高く、資料3を見ると、労働力人口は2005年～2010年と2010年～2015年を比較すると2005年～2010年の方が増加数が多いことが分かる。

問 2 マドカさんは、岐阜県白川村にある白川郷について調べ、資料4～資料8を得た。これらの資料を基にした、マドカさんとイツミさんの会話文中の空欄 **X**， **Y** に当てはまる記号と語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **10**。

資料4



資料5



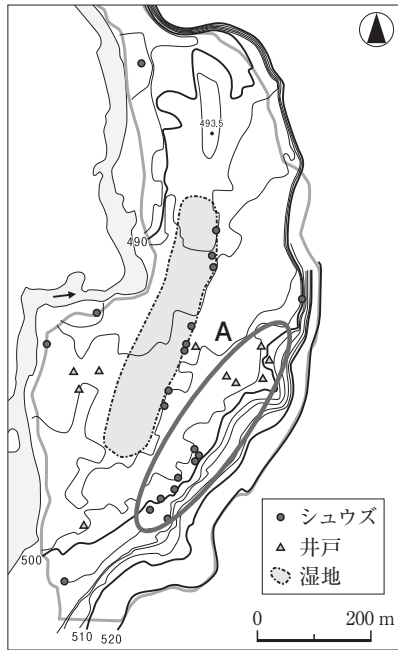
(「水環境への適応とその持続的活用形態からみた山村集落の文化的景観評価」により作成)

資料6

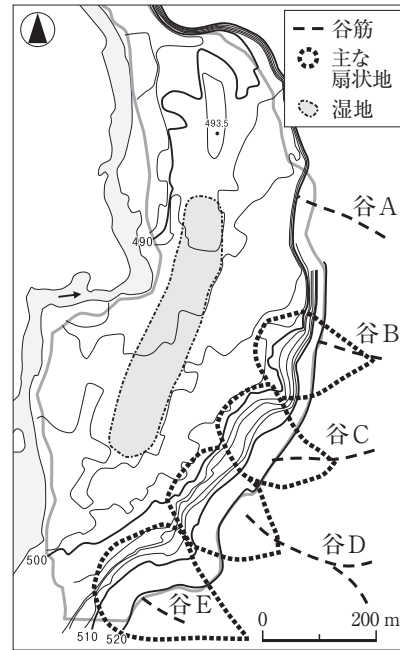


(地理院地図により作成)

資料7 シュウズと井戸の分布



資料8 谷筋と主な扇状地の分布



(「水環境への適応とその持続的活用形態からみた山村集落の文化的景観評価」により作成)

会話文

マドカ：資料4は「合掌造り」で世界遺産としても有名な白川郷です。資料4の写真から、何か読み取れることはありますか。

イツミ：多くの家の屋根が同じ方向を向いています。何か目的があるのですか。

マドカ：太陽光が効率よく屋根にあたるため、冬の積雪を早く溶かすなどの効果があるそうです。また、南北に窓を設け、風通しを良くして夏を涼しく過ごす工夫がされています。資料4は資料6中のどちらの矢印の方向を向いて撮影した写真か分かりますか。

イツミ： X だと思います。

マドカ：正解です。次に資料5を見てください。これはシュウズと呼ばれる湧水地ゆうすいちの様子です。集落の人々はこの自然湧水を生活の様々な場面で利用してきました。

イツミ：資料7中にあるAの範囲にはシュウズや井戸が複数分布していますね。資料8と合わせて考えると、これらが主な扇状地の Y 付近に位置しているためでしょうか。

マドカ：その通りです。観光地である白川郷も、この地域の自然環境に適応し、上手に利用することで成立していたのですね。他の村落の成立についても調べてみましょう。

	X	Y
①	ア	扇頂
②	ア	扇端
③	イ	扇頂
④	イ	扇端

問 3 マドカさんは、ヨーロッパとその周辺で食べられている米を使った料理に興味をもち、資料 9 を得た。資料 9 中の A～D の米料理は、資料 10 中のア～エのいずれかの国で見られる特徴的な料理である。米料理と国の位置の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

資料 9 ヨーロッパとその周辺の米料理の写真とその説明

A



この国の米料理は、地中海を渡り、アラブ人によって伝えられたことにより発展したとされる。この国の米の生産量はヨーロッパ 1 位を誇る。この写真の料理は、トマトやワインとともに煮た米でモッツァレラチーズと生ハムを包み、衣をつけて揚げて作られる。

B



この国の米料理は、伝統的なものが少なく、一般の人々の手に届くようになったのは 18 世紀頃とされる。米が貴重だった当時は王族や貴族だけが口にすることができたという。この写真の料理は、この国の植民地であったインドから伝わったとされ、玉ねぎなどの具をカレー粉とともに炒めて作られる。

C



この国の米料理は、シルクロードを通してアラブ人によって伝えられたことにより発展したとされる。主食は麦であるものの、米料理のバリエーションは豊富で、米はスイーツにも用いられる。この写真の料理は、近くの海で冬に捕れるいわしを大量に用いて作られる。

D



この国の米料理は、サフラン、シナモン、ナツメグなどの様々な香辛料とともに海を越えてアラブ人によって伝えられたことにより発展したとされる。この写真の料理は、パプリカやトマト、魚介類などをオリーブオイルで炒めたのち、これらの具を蓋ふたの代わりにして米と蒸し焼きにして作られる。

(「世界の米料理」などにより作成)

資料10



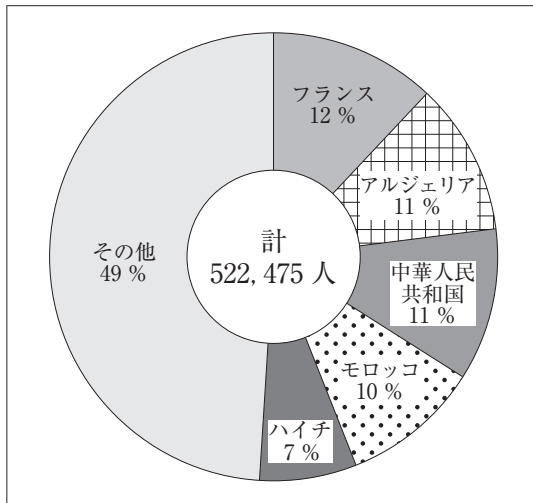
Ⓑ

	A	B	C	D
①	ア	ウ	イ	エ
②	ア	ウ	エ	イ
③	ウ	ア	イ	エ
④	ウ	ア	エ	イ

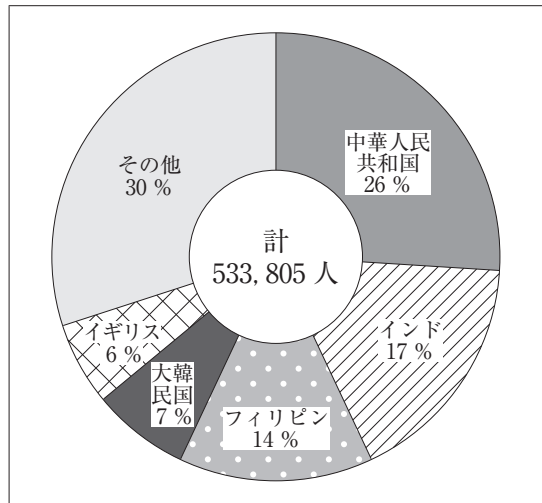
問 4 マドカさんは、カナダにおける移民に興味をもち、資料 11 を得て、資料 12 のレポートに州別の特徴をまとめた。資料 11 中の A～C は資料 12 中のア～ウのいずれかの州の移民の出身国別割合を示している。資料 11 中の A～C のグラフと資料 12 中のア～ウの州との組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 12。

資料11 2000年～2015年におけるア～ウのいずれかの州の移民の出身国別割合(上位5か国)

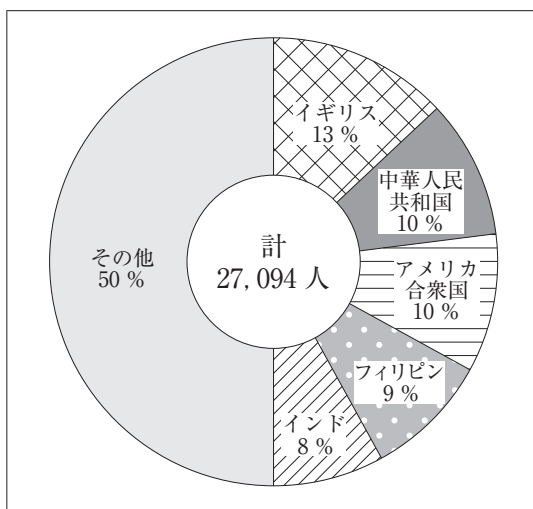
A



B



C



注) 中華人民共和国には台湾、香港、マカオを含まない。

(<https://canadaimmigrants.com/> により作成)

資料12 マドカさんがまとめたレポート



ア 大陸西岸に位置しており，アジア・太平洋地域から入国する移民の割合が高い。国内では州別にみると第3位の人口をもつ。

イ 国内第2位の人口をもつ都市があり，複数ある公用語のうち，英語とは異なる言語が主に用いられている。

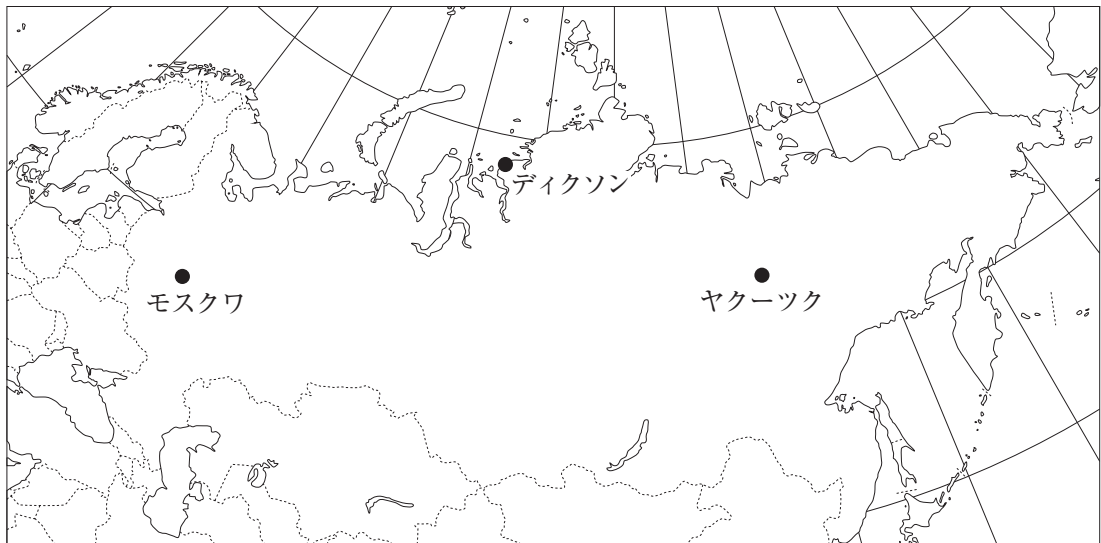
ウ 大陸東岸に位置しており，出身国と同じ言語が使えることなどを理由として入国する移民の割合が高い。豊かな自然環境などを求めて移住する人々も多いとされる。

	A	B	C
①	ア	イ	ウ
②	イ	ア	ウ
③	イ	ウ	ア
④	ウ	ア	イ

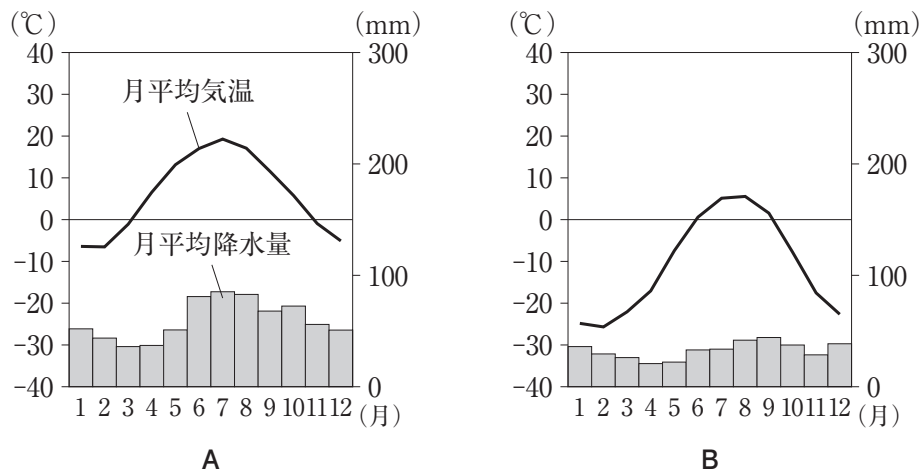
4 現代世界の諸地域について、問1～問4に答えよ。

問1 ケンタさんは、ロシアの気候や自然環境に影響を受けた建築物に興味をもち、資料1～資料3を得た。これらの資料に関して、ケンタさんと先生の会話文中の空欄 **X**、**Y** に当てはまる記号と文の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **13**。

資料1 ロシアとその周辺の地図

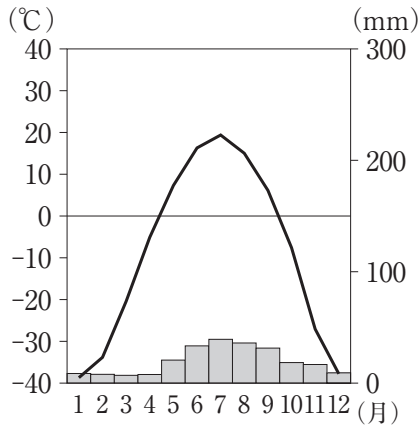


資料2 2都市(ディクソン、モスクワ)の雨温図



(気象庁資料により作成)

資料3 ヤクーツクの雨温図とヤクーツクの街中にあるアパートの様子



(気象庁資料などにより作成)

B

会話文

ケンタ：資料1から、ロシアは面積が広大で、日本より高緯度にあることがよく分かります。資料2はロシアのディクソンとモスクワの雨温図です。

先生：そうですね。北極海に面した地域は夏でも気温が高くなりませんが、それ以外の地域は、夏は月平均気温が10℃以上になります。では、ディクソンの雨温図はどちらになりますか。

ケンタ： X でしょうか。

先生：そのとおりです。資料3を見てみましょう。ヤクーツクの気温はどのような特徴がありますか。

ケンタ：夏は気温が高く、冬はとても気温が低いです。

先生：そのとおりです。ヤクーツクは内陸部にあるので、気温の年較差がとても大きいですね。

ケンタ：先生、写真のヤクーツクのアパートは、なぜ高床になっているのでしょうか。

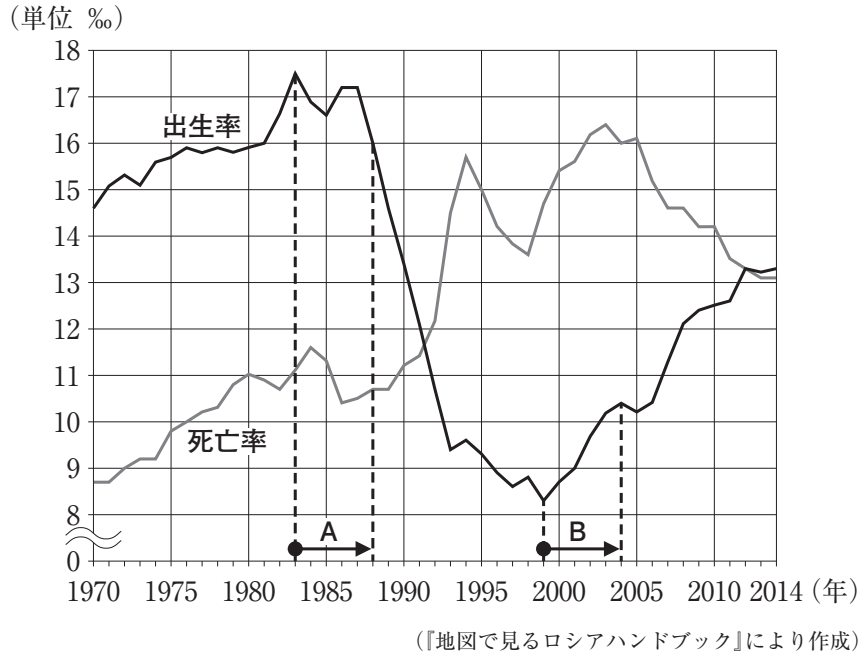
先生：いいところに気が付きましたね。このことは、寒冷地ならではの自然環境が影響しています。ヤクーツクの冬はとても冷えます。屋内では暖房を使います。仮に、アパートを高床にしない場合、暖房の熱で Y してしまいます。それを防ぐために多くの建物は高床にしているのですよ。

ケンタ：そういうことなのですね。

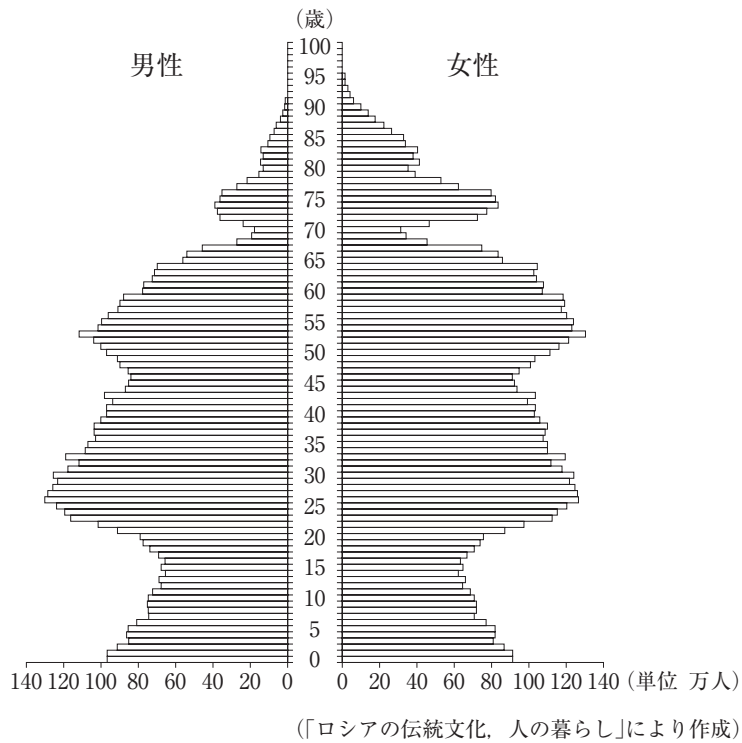
	X	Y
①	A	永久凍土がとけて、建物の重みで建物が沈んだり、傾いたり
②	A	大量の積雪がとけて、建物の周りで大規模な洪水が発生
③	B	永久凍土がとけて、建物の重みで建物が沈んだり、傾いたり
④	B	大量の積雪がとけて、建物の周りで大規模な洪水が発生

問 2 ケンタさんたちは、ロシアの人口に興味をもち、資料4～資料7を得た。それぞれの資料を読み取った内容をカードにした。カード中の下線部の内容が不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

資料4 ロシアの出生率と死亡率の推移



資料5 ロシアの人口ピラミッド(2014年)



資料6 ロシアのあゆみ

年	出来事
1917	ロシア革命
1922	ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)成立
1945	第二次世界大戦終結
1985	ペレストロイカ(改革)の開始
1989	米ソ首脳会談・冷戦の終結
1991	ソ連の解体
1994	チェチェン共和国の独立運動に対する武力行使
2014	ソチオリンピック開催

資料7 ロシアの少子化対策「母親資本」制度

二人以上の子どもをもつ母親に対して、住居、教育、年金のいずれかに対して、25万ルーブル(約110万円)の補助を行う制度。制度が開始された2007年1月1日から2016年12月31日までに出生、または縁組された子どもに適用される。

(「ロシアの伝統文化、人の暮らし」などにより作成)

カード

① ケンタさん

資料4と資料6から、ソ連が解体された年の前後2年間ずつを見ると、出生率が低下し続けていることが分かります。

② マイさん

資料5と資料6から、第二次世界大戦が終結した年よりも前に生まれた人々の総人口は、女性より男性の方が多いたことが分かります。

③ ユイさん

資料4中の、出生率が高いAの5年間と、出生率が低いBの5年間に出生した人の人口を、資料5で見ると、Aの期間に出生した人の人口の方が多いたことが分かります。

④ キョウタロウさん

資料4から、資料7の制度開始以降は、出生率が回復傾向にあること、資料5から、10歳以上20歳未満の人口より10歳未満の人口の方が多いたことが分かります。

問 3 ケンタさんは、ロシアで見られるダーチャについて興味をもち、資料 8～資料 10 を得た。これらの資料から読み取ったり推測したりした文として最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

資料 8 典型的なダーチャのようす



ダーチャとは、都市郊外に立地する農園付き別荘のことを指す。都市の住民が、週末や夏休みに出かけ、そこで過ごす。ロシアにおけるダーチャの普及度は、都市世帯の約半数程度といわれる。近年、若者を中心にダーチャ離れが進んでいたが、コロナ禍において、自然の中で、家族だけで安心して過ごせるため、見直されてきている。

(https://jp.rbth.com/multimedia/pictures/2014/07/24/7_49317 などにより作成)

資料 9 モスクワとウランウデの家族にとってのダーチャの機能についてのアンケート調査結果 (2012 年)

単位(%)	新鮮な食料の確保	食料の自家消費による家計補助	ふれあいによる自然との休息場所や自然との満足	住居の補完・それによるリラククス・開放感	出す先	休暇時に子供を連れ	交流や友達の招待	保管 家具や書籍その他の	その他
モスクワ：40 世帯	32.5	7.5	85.0	27.5	47.5	65.0	55.0	7.5	
ウランウデ：36 世帯	63.9	25.0	66.7	19.4	25.0	38.9	25.0	5.6	

注) アンケートは複数回答可。

(「ロシアのユニークな土地利用『ダーチャ』」により作成)

資料10 ロシアの地域別全農業に占めるダーチャ農業の面積割合(2016年)

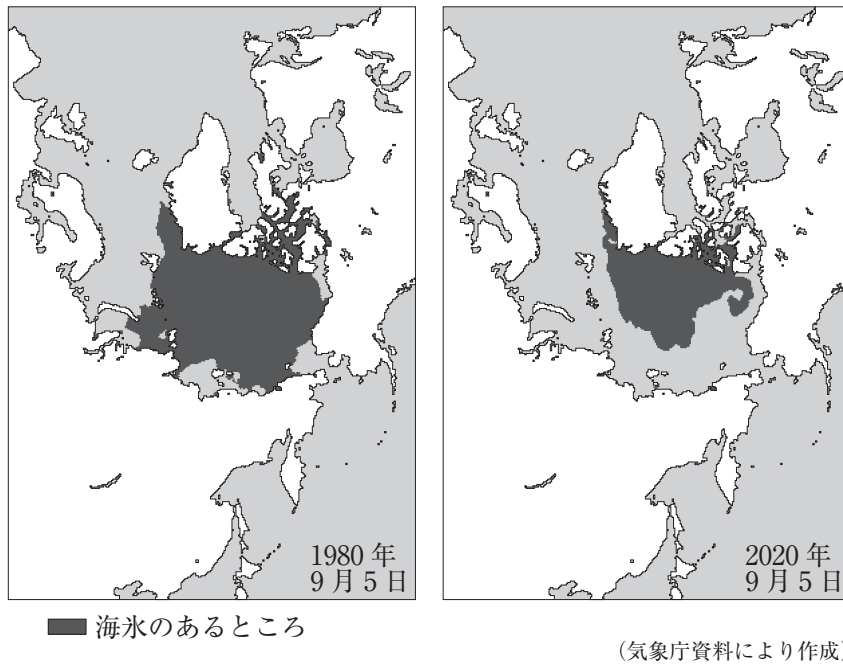


(「ロシアのユニークな土地利用『ダーチャ』」により作成)

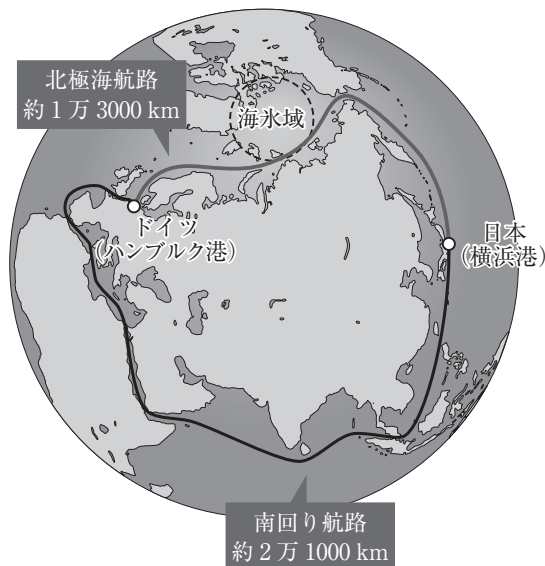
- ① 資料8と資料9から、ダーチャの機能として、両都市の家族はともに「休息場所や自然とのふれあいによる満足」の割合が最も高く、次いで農園を利用した「食料の自家消費による家計補助」が高い。
- ② 資料9から、ダーチャの機能として、「休暇時に子供を連れ出す先」「交流や友達の招待」「家具や書籍その他の保管」は、ウランウデよりモスクワの家族の方が割合が高い。
- ③ 資料9と資料10から、ウランウデが位置する地域では、ダーチャ農業の面積割合は低位である。しかし、「新鮮な食料の確保」機能としてダーチャを利用している家族の割合は、6割を超えている。
- ④ 資料10から、ロシアの南部で、国境に接するすべての地域では、ダーチャ農業の面積割合は低位である。

問 4 ケンタさんは、北極海の利用とその課題について興味をもち、資料11～資料13を得た。
これらの資料に関して、ケンタさんと先生の会話文中の空欄 **X** , **Y** に当てはまる語の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。
解答番号は **16** 。

資料11 北極海とその周辺における海水の分布(1980年9月5日と2020年9月5日)



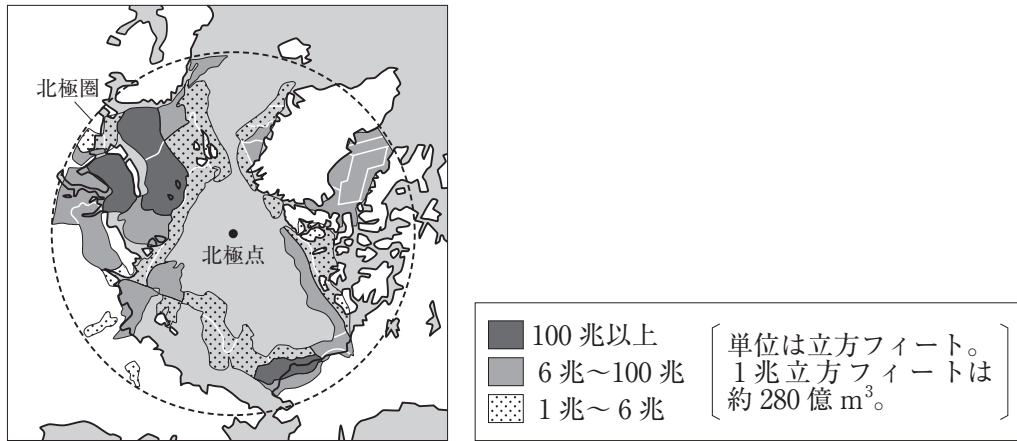
資料12 日本(横浜港)からドイツ(ハンブルク港)までの船の航路



(<https://dot.asahi.com/aera/2018041800052.html> により作成)



資料13 北極圏における未発見の天然ガスの推定埋蔵量とその分布



(<http://www.asahi.com/eco/TKY200905280362.html> により作成)

会話文

先生：資料11から、北極海とその周辺における海水の分布を見てみましょう。1980年と2020年では、どのような変化がみられますか。

ケンタ：北極海の海水の面積が小さくなっていることが分かります。これは地球温暖化の影響なのでしょう。

先生：そうですね。その影響で、海水に覆われている面積が年々縮小しています。近年ではこの変化を利用して、夏季限定で少数ですが、資料12のような北極海を経由する航路の利用が始まっています。どのようなことが読み取れますか。

ケンタ：日本からドイツまでの航行距離は、 航路の方が短いようです。

先生：その通りです。続いて、資料13を見てみましょう。北極圏における、天然ガスの推定埋蔵地域の分布にはどのような傾向が読み取れますか。

ケンタ：分布地域やその推定埋蔵量が多いのは、 であることが読み取れます。

先生：正解です。地球温暖化が進むことによって氷がとけて掘削しやすくなり、 における天然ガスの採掘がさらに進むと考えられます。

ケンタ：よく分かりました。このまま開発を進めてしまっても問題は無いのでしょうか。

先生：人間による開発と、自然環境や生態系の保護のバランスを取るのはとても難しいことです。持続可能な開発の実現に向けて、どのような取組が進んでいるか調べてみましょう。

	X	Y
①	北極海	海底
②	北極海	陸上
③	南回り	海底
④	南回り	陸上

5 現代世界と日本に関して、問1～問4に答えよ。

問1 サトシさんたちは、持続可能な開発目標(SDGs)のうち、目標1と目標12の世界各国の達成状況を調べ、資料1と資料2を得た。これらの資料を読み取ってまとめた文の下線部の内容が不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 17 。

資料1 目標1「貧困をなくそう」の各国の達成状況



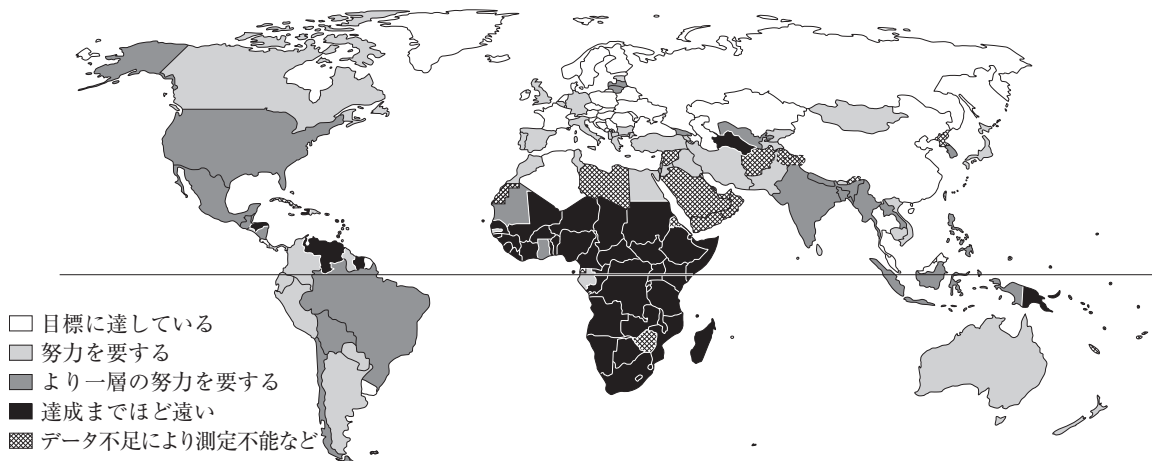
目標に対する達成状況を評価するための指標

すべての国に適用される指標

- ・ 1日1.9ドル未満で生活する人の割合
- ・ 1日3.2ドル未満で生活する人の割合

OECD加盟国に追加される指標

- ・ 相対的貧困率



注) ・ OECDとは、「経済協力開発機構」の略で、37か国で構成され、各国の経済成長の推進や発展途上国への援助などを目指す国際機関である。

・ 「相対的貧困率」とは、各国民の収入から税金や社会保険料を引いた可処分所得を高い順に並べ、中央の額の半分に満たない人が全体に占める割合である。

資料2 目標12「つくる責任つかう責任」の各国の達成状況



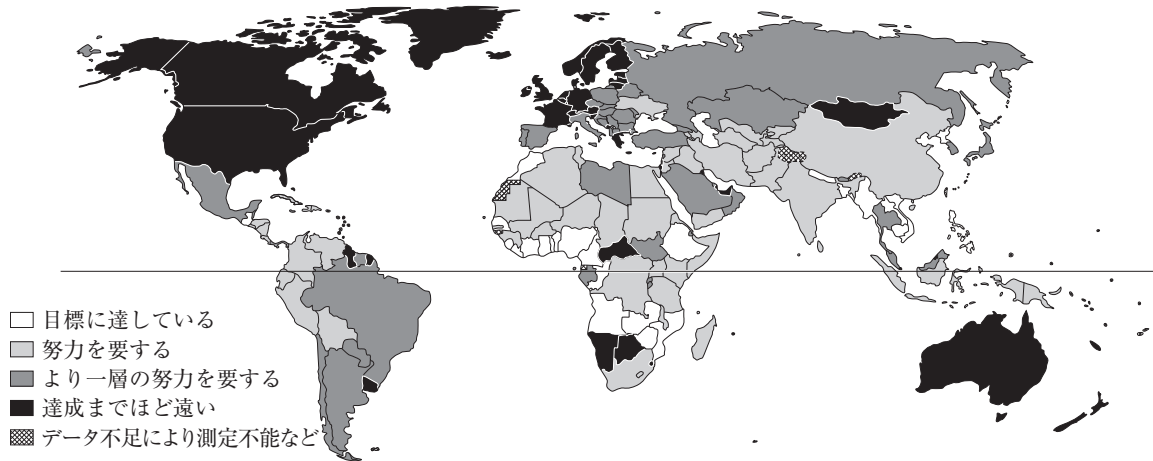
目標に対する達成状況を評価するための指標

すべての国に適用される指標

- ・ごみの廃棄量
- ・商品などの生産時に排出される SO₂ 排出量
- ・電気電子機器の廃棄物量
- ・輸入品に関する SO₂ 排出量
- ・商品などの生産時に排出される窒素排出量
- ・輸入品に関する窒素排出量

OECD加盟国に追加される指標

- ・リサイクルできない固形廃棄物量



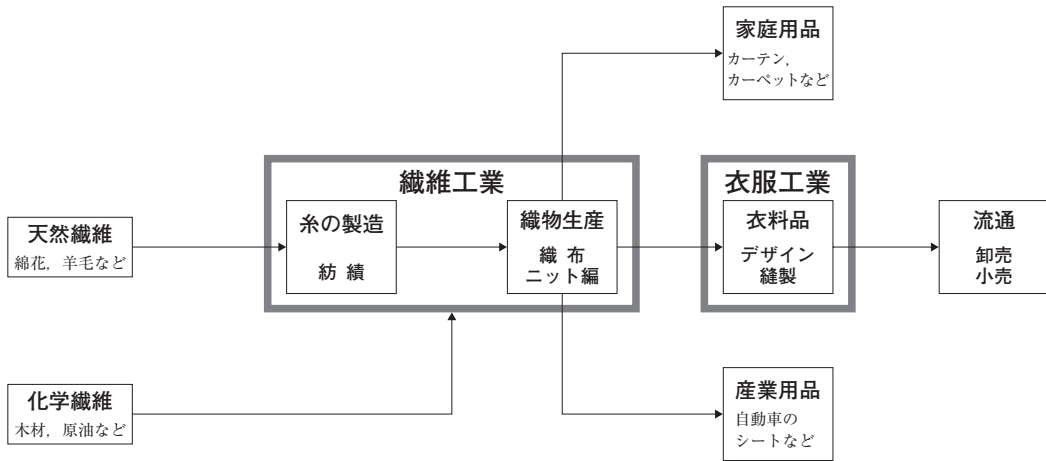
注) SO₂とは、二酸化硫黄のことであり、大気汚染や酸性雨の主な要因となる。

(<https://dashboards.sdgindex.org/> などにより作成)

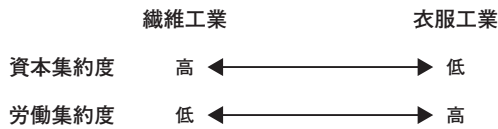
- ① 資料1と資料2から、目標1と目標12の両方とも、OECD加盟国に追加される指標があることが分かる。
- ② 資料1と資料2から、日本は目標1と目標12の両方とも、「目標に達している」には至っていない。
- ③ 資料1から、目標1の達成状況について、ヨーロッパには「目標に達している」国があるが、アフリカには「目標に達している」国がないことが分かる。
- ④ 資料2から、目標12の達成状況について、「達成まで程遠い」国はアフリカよりもヨーロッパの方に多いことが分かる。

問 2 サトシさんは、身に着けている衣料品がバングラデシュ製であったことから衣料品の生産に興味をもち、資料 3～資料 5 を得た。サトシさんと先生との会話文中の **X** ～ **Z** に当てはまる語句と記号の組合せとして最も適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **18**。

資料 3 繊維・衣服工業の生産連鎖

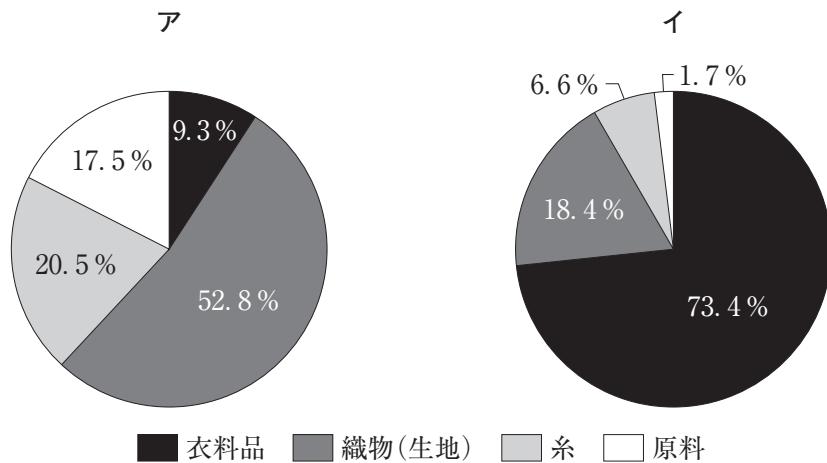


資料 4 繊維・衣服工業の生産特性



(『グローバル・シフト』などにより作成)

資料 5 日本とイタリアいずれかの繊維関係輸出品目の内訳(2018年)



(経済産業省の資料により作成)

注) 小数点第 2 位を四捨五入している関係で、合計は 100 % にならない。

会話文

サトシ：先生，2015年におけるバングラデシュの輸出品目の1位は「衣料品」であることが調べて分かったのですが，疑問だったのは，輸入品目の1位が「繊維」だったことです。「衣料品」と「繊維」って同じではないのですか。

先生：よい疑問ですね。資料3を見てください。綿花や羊毛などの天然繊維や化学繊維から糸や織物(生地)を生産するのが「繊維工業」で，生地から衣料品に仕立てるのが「衣服工業」です。

サトシ：そうすると，バングラデシュでは「衣服工業」が盛んということですね。なぜですか。

先生：資料4をよく見て考えてみましょう。

サトシ：「資本集約度」と「労働集約度」とはなんですか。

先生：「資本集約度」が高いとは，生産に大規模な設備が必要なことを，「労働集約度」が高いとは，生産に多くの労働者が必要なことをいいます。

サトシ：そうか。バングラデシュは糸や生地を他国から輸入して，この国が有する **X** を活用して衣料品を生産し，他国に輸出しているということですね。

先生：そう考えられます。では応用になりますが，資料5のうち，日本の繊維関係輸出品目の内訳を示すグラフはアとイのどちらでしょうか。

サトシ：**Y** ですね。

先生：正解です。

サトシ：ということは **Z** はイタリアの繊維関係輸出品目の内訳ということですか。イタリアは先進国なのに日本とは違った輸出内訳なのですね。

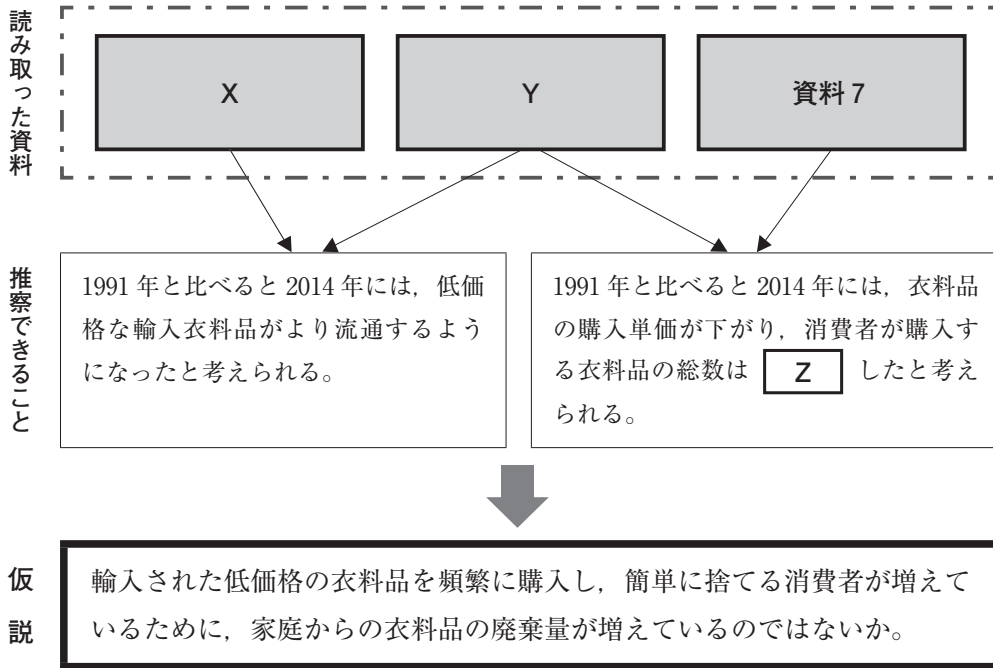
先生：よい点に気づきましたね。イタリアではデザインや品質などで付加価値を高めて衣料品を生産するという戦略をとっているのです。

サトシ：「安く作る」だけではなく，異なる戦略によって，国際競争力を持つこともできるんですね。

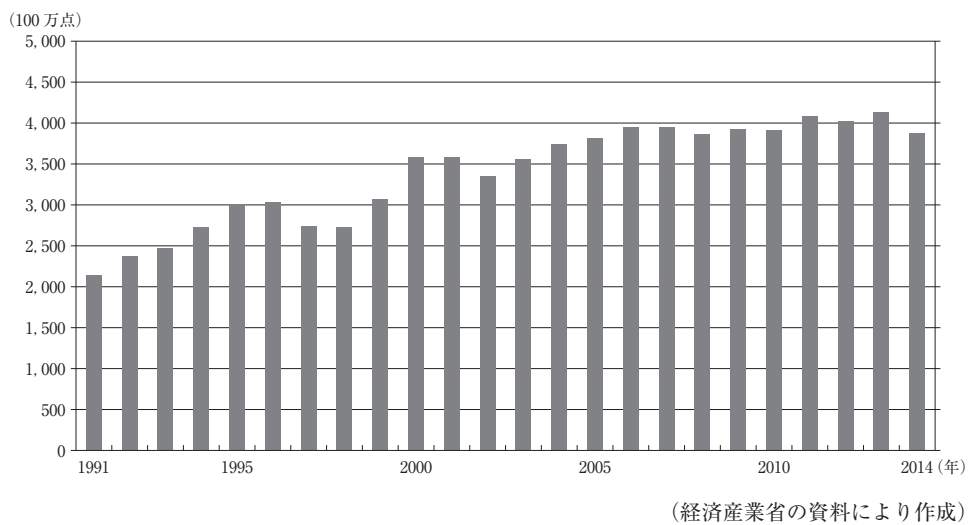
	X	Y	Z
①	豊富な労働力	ア	イ
②	豊富な労働力	イ	ア
③	高度な技術	ア	イ
④	高度な技術	イ	ア

問 3 サトシさんは、近年家庭からの衣料品の廃棄量が増えている背景について調べ、資料6のような思考過程で考察を行った。資料6中の **X** , **Y** には資料8中のアカイのいずれかのグラフが、**Z** には増加か減少のいずれかの語が当てはまる。**X** ~ **Z** に当てはまるグラフと語の組合せとして最も適切なものを、あとの①~④のうちから一つ選べ。解答番号は **19** 。

資料6 サトシさんの思考過程と立てた仮説



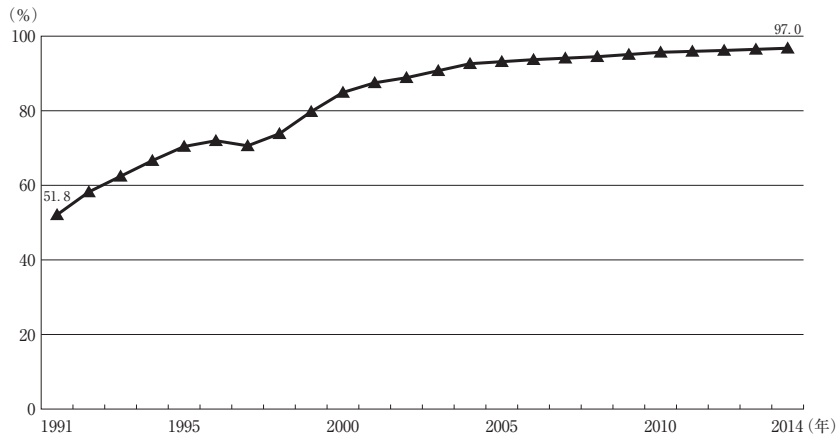
資料7 日本における衣料品の供給量の推移(1991年~2014年)



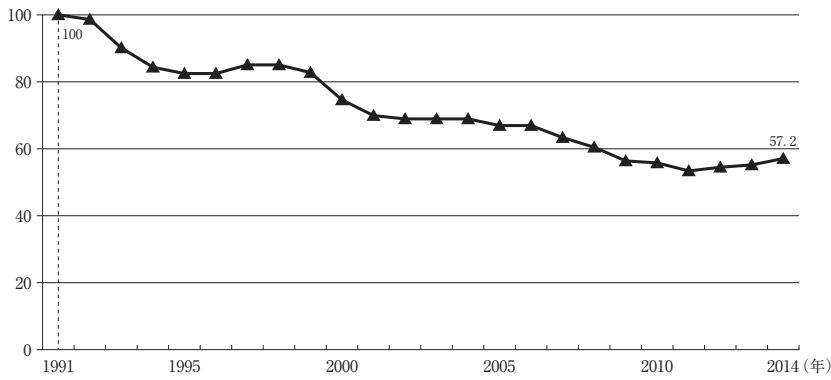


資料8 資料6中の **X** , **Y** のいずれかに入るグラフ

ア 日本国内で販売される衣料品に占める輸入品の割合の推移(1991年～2014年)



イ 日本における1991年を100としたときの衣料品の購入単価の推移(1991年～2014年)

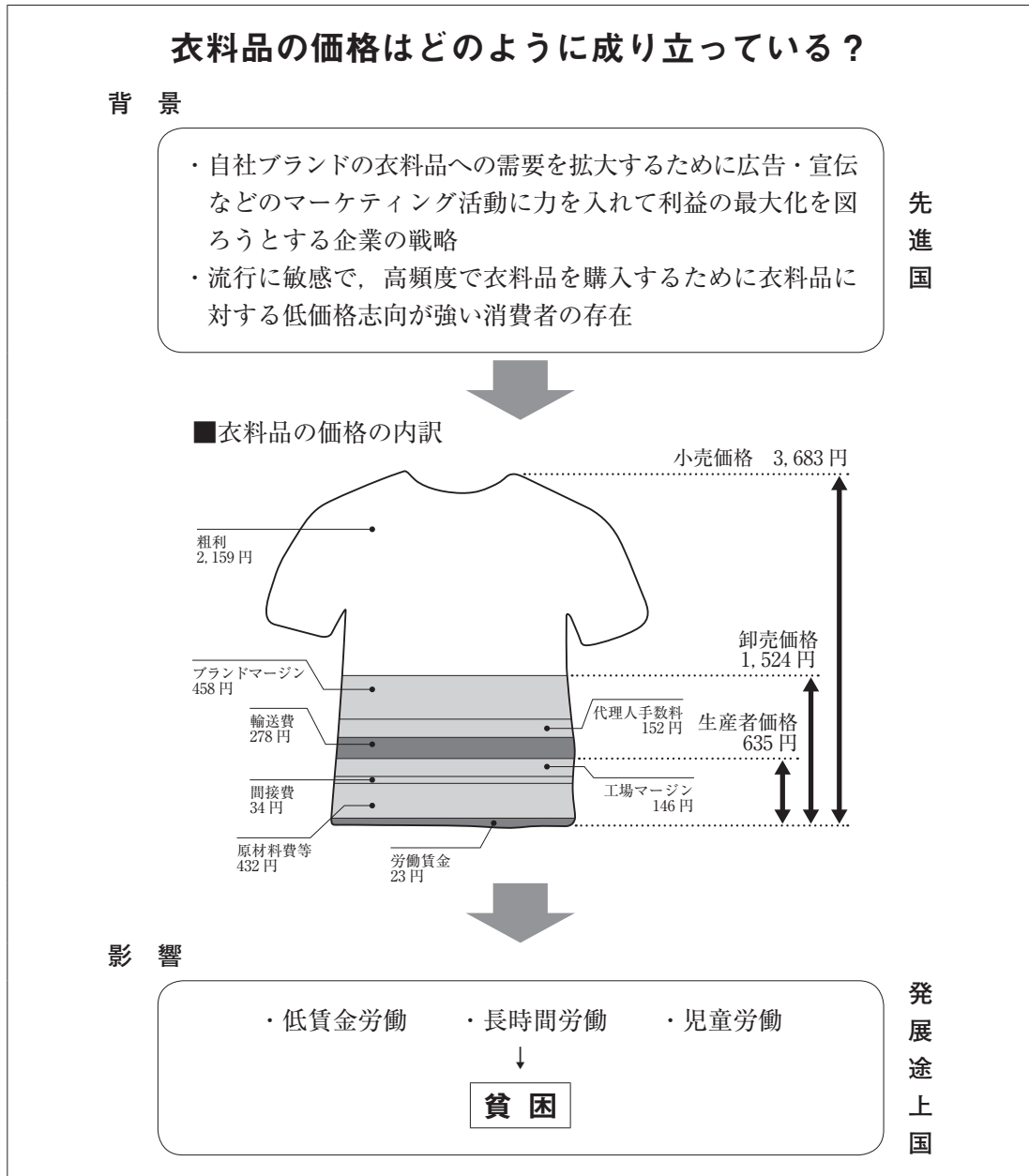


(経済産業省の資料により作成)

	X	Y	Z
①	ア	イ	増加
②	ア	イ	減少
③	イ	ア	増加
④	イ	ア	減少

問 4 サトシさんたちは、衣料品の価格の内訳とその背景について考察し、資料9と資料10を用いて発表した。これらの資料に基づいたサトシさんたちの発言中の下線部の内容が不適切なものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

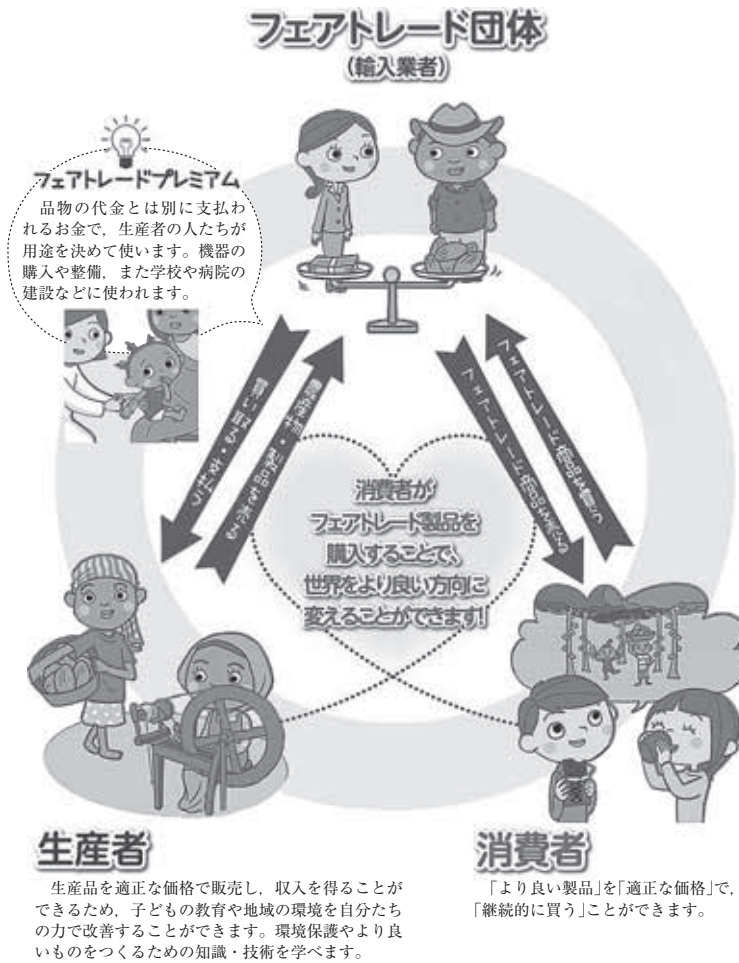
資料9 サトシさんたちが作成したポスター



注) マージンとは、売価から原価を除いた「もうけ」のことである。

(『浜松から未来をひらく エシカル消費』などにより作成)

資料10 フェアトレードの仕組み



(『はくたち・私たちの消費行動が世界を変える！ フェアトレード』により作成)

① サトシさんの発言

資料9から、消費者が購入する衣料品の小売価格3,683円のうち、生産に従事している労働者に支払われる賃金の割合は、衣料品の小売価格の1%未満であることが分かります。このことは発展途上国で衣料品の生産に従事している人々の貧困と関係していると考えられます。

② イズキさんの発言

資料9から、衣料品の小売価格は、生産者価格の約6倍になっていることが読み取れます。これは、衣料品が発展途上国から先進国に輸送される時にかかる費用がさまざまな費用のうち最大の要因になっているためであると考えられます。

③ ショウさんの発言

資料10から、フェアトレードは、「より良い製品」を「適正な価格」で取引する貿易の仕組みであることが分かります。「適正な価格」とは、資料9も踏まえると、その商品の生産に従事している労働者に労働に見合った対価が支払われることを意味していると考えられます。

④ ユウさんの発言

資料10から、「フェアトレード製品を購入することで、世界をより良い方向に変えること」の一例として、生産者が生活する地域に学校が建設されて子どもの教育環境が改善されることで、貧困から脱する可能性を高めることが考えられます。

